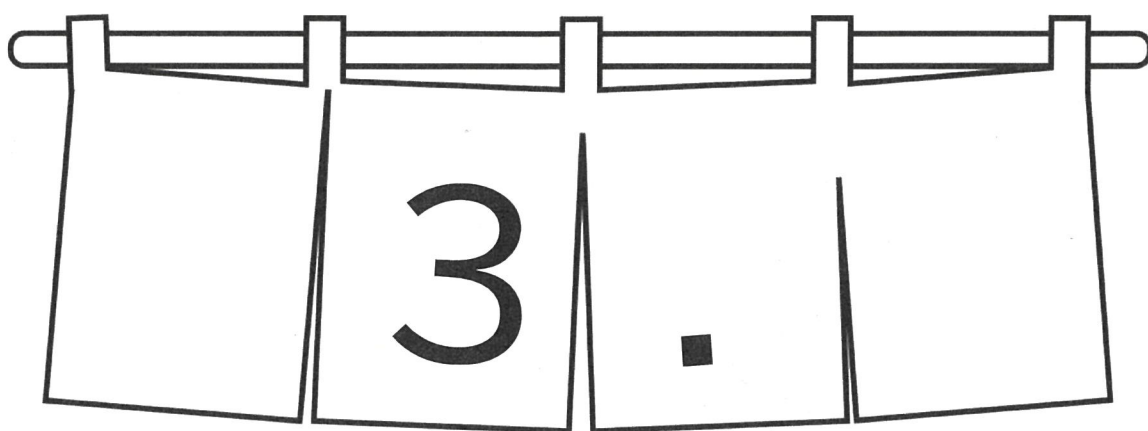




コーディネーターの 業務内容

1 個別相談・支援



「聞く」

福祉に関する個別の相談を受けています。

たとえば…

「どこに相談したらいいかわからない」
「近所に気になる人がいる」など

今年度、コーディネーターが受けた個別相談の特徴

どこに相談したらいいかわからない



今後のことが不安…



高齢の親と子



近所の気になる子ども

課題が多くて、何から対応すればいいかわからない



不登校やひきこもり



生活が苦しい



外国にルーツのある方の相談

令和7年度は、下記内容の相談が多く寄せられました。

- ・身寄り無し独居(年齢問わず40代～80代まで)
- ・今後のこと(入院時、鍵、支援、契約等)
- ・8050:社会とのつながりの薄い高齢者と子ども世帯
- ・気になる子どもがいる

※詳細につきましては、TAITOスタイル後半の「データと新規相談の内容」編もご覧ください。

2 地域支援

たとえば…

「地域の課題解決に貢献したい」

「居場所を作りたい」など



「聞く」

「地域のために何かやってみたい」「住民同士の支え合い活動をしたい」など、住民が主体となる活動の相談を受けています。

コーディネーターが受けた「地域で何かやりたい！」という相談(一部抜粋)



健康や運動の活動に興味がある



子ども食堂を立ち上げたい



病院内の活動で手話をやりたい

地域活動の
立上げ支援

「活動をやりたい」「活動
に興味がある」という相談
も多く寄せられました

※3
多機関との連携

地域支援
の
取組み

地域活動の
運営支援

※2
周知・啓発

※1
地域つながり会議
〈協議体〉

※1 地域つながり会議＜協議体＞

地域つながり会議 (協議体)とは

地域つながり会議は、住民を交えて地域で気になっている課題について自由に話し合う会議の場です。住民だけではなく、専門職や関係機関も参加し、地域の課題把握から解決に向けてアイデアを出す話し合いの場となっています。地域の課題は重層的で複雑なケースも多いので、まずは情報の整理を中心に意見交換の会議を進めています。生活支援体制整備事業における協議体として位置付けています。

令和7年度に実施した地域つながり会議の主なテーマ（一部抜粋）

- ◆今までの活動を振り返る
- ◆地域の課題やニーズ、地域資源について意見交換する
- ◆活動終了について意見交換する
- ◆飲食店を活用した子ども食堂に関する意見交換をする
- ◆お金に関わる身近な話や地域の課題について意見交換する
- ◆お互いを知り、顔の見える関係づくりのきっかけとする
- ◆お互いを知り、調理場の活用について意見交換する



令和7年度は、既存の活動に加えて、新たな取り組みを応援するためのつながり会議が多くありました。次年度はこの地域つながり会議の中から、いくつかの地域活動が生まれるのでしょうか。楽しみです！

※2 周知・啓発

(1) 周知・発信方法

地域福祉推進系の事業説明を行うことを目的にチラシを作成し、台東区社会福祉協議会の事業案内とともに配布しております。また、社協職員向けに毎月発行しているコーディネーター通信は、地域福祉推進係以外の職員への情報共有ツールとなっています。

福祉に関する相談

だれに相談したらよいかわからない。



近所で気になる人がいる…。



※年齢や対象は問いません。
どなたでもご相談ください。

8:30~17:15
(土日祝除く)



地域でやりたいことがある。
地域で気になることがある。



地域福祉コーディネーター

にお話してみませんか。

【お問合せ】
社会福祉法人 台東区社会福祉協議会
地域福祉推進係
台東区下谷1-2-11
☎ 03(5828)7556

たいとうしゃきよう 検索




コーディネーター通信 令和7年度9月分活動実績 社内
同僚

01 地域支援とコーディネーターの動き

- 成成院(つながり会議)
- チーム福老(つながり会議)
- 寿一ぼっとな(運営支援)
- アンダンテ(運営支援)
- 清川つながり会(運営支援)

- 上野つながりルーム(運営支援)
- あおぞらカフェ(つながり会議)
- 富士の湯で体操!?(運営支援)
- 黒いの湯(運営支援)

02 地域とコーディネーターの写真













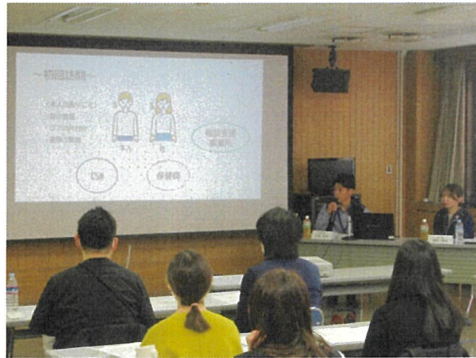
地域福祉コーディネーター チラシ

コーディネーター通信 (社内向け)

(2)講師派遣による啓発等

講習会や研修等における講師派遣等の依頼があり、地域福祉推進系の事業説明やテーマに沿った事例紹介等を行いました。

- ◆菊屋橋町会主催高齢者のための講習会
- ◆松が谷福祉会館基幹相談支援研修
- ◆ケアマネのつどい@たいとう
- ◆地域包括支援センター実習生説明会



(3)地域の方や会合等における普及

地域住民が集まる場や住民活動、行政や企業等が開催するイベント等へ訪問した際、地域福祉推進系の事業説明を行い、地域への周知を行いました。

【主な訪問先】

- 民生委員・主任児童委員協議会(全体会・地区民児協・部会等)
- ふれあいサロン
- 町会活動
- 商店街イベント
- 区主催事業
- 老人福祉センター

※3 多機関との連携

コーディネーターは、地域の課題解決に向けて、地域住民はもちろん社協の他部署・行政・関係機関・団体・企業等と連携して活動しています。ここでは、今年度それらと連携して取り組んだ主な活動や出席した会議体についてご紹介します。

(1) 東京藝術大学や東京都美術館等のアート分野との取り組み

ART 共創拠点

Arts-Based Communication Platform
for Co-creation to Build a Convivial Society

東京藝術大学が中核となり41機関が連携した「共生社会をつくるアートコミュニケーション共創拠点」通称:ART共創拠点は、福祉・医療・テクノロジーを融合したアートコミュニケーションによって、誰もが「自分らしく」を実現できる共生社会を目指します。当プロジェクトに地域福祉推進係も参画し、福祉分野の視点からミーティングやワークショップに参加しています。

(2) 令和7年度に参加した主な会議

- 生活支援体制整備事業定例会議
- 包括×自立支援交流会
- 見守りネットワーク
- 地域ケア会議
- 〇これ会議
- 城北ブロック地域福祉担当者連絡会

(3) アドバイザーとの連携

令和4年度より地域福祉推進系の事業のブランディングアドバイザーの合同会社Grip Grapと月1回打合せを行い、コーディネーターの「見せ方」等についてアドバイスを受けています。また、武蔵野大学教授渡辺裕一氏より不定期にコーディネーターの事業全般や地域支援に関するアドバイスを受けています。



3 地域の把握



『聞く』

地域情報の収集や地域課題の把握をするために、住民の集まりや交流の場に顔を出し、皆さんの声を聴いています。

たとえば…

「私たちの地域にはこんな歴史や背景があるのよ」

「私の地域ではこんな活動をやっている」など、地域のお話を聞いています

コーディネーターの地域訪問記

コーディネーターは積極的に地域や場に出向き、地域にある社会資源や福祉的な課題の発見に努めています。ここでは、そんな地域との関わりを写真でご紹介します。



住民の交流の場、住民主体の体操、住民活動の話し合い、銭湯を活用した活動の場、関係機関主催の催し等々…

コーディネーターは地域のいろいろな活動や場を訪問し、住民の皆さんから地域のお話を聞くことができました。

4 地域はっぴい助成金制度 (一定の要件があります)

00 制度誕生までの背景

地域福祉推進係（旧コーディネーター担当）が設立後、年を追うごとに「**地域の課題解決のために活動したい**」「**地域のために何かしたい**」という相談が増加していききました。ただし、活動するには会場費や運営費が必要であり、コーディネーターは多くの相談者から活動を始めることに躊躇する声を耳にしました。お試し活動への**チャレンジ**、活動の**きっかけづくり**の助成金の重要性を感じ、令和4年度に地域はっぴい助成金制度が誕生しました。

01 目的

皆さんがお住まいの **地域にある福祉課題の解決** を目的とした、ボランティアグループ・自助グループ等の団体が行う活動の一部を助成する制度。

02 主な要件

- ① 当助成金制度の利用前に社協に**事前相談**している団体
- ② 区内の活動であり、区民が**主体的**に地域の福祉課題の解決に取り組む団体
- ③ **3名以上**（うち、区民が半数以上）の団体
- ④ 社協や台東区等が行う同種の**助成金を受けていない**、または**活用できる制度がない**団体
- ⑤ 社協が設定する“**地域つながり会議**”に**参加**することができる団体
- ⑥ 地域内の同種の活動と**重複しない**団体
- ⑦ **地域の福祉課題の認識**が社協と合致している団体

【対象にならない団体活動や団体】

- ×趣味の教室や習い事のような活動等
- ×政治・宗教活動・営利を目的としている団体

03 助成金額

助成金	対象	上限	対象経費	助成期間
運営	地域の福祉課題解決のための新規活動を行う団体	5万円	会場費 消耗品費 保険料 印刷製本費 水光熱費 等	助成交付決定日からその日の属する年度の末日(3/31) ※更新の上限は初回年度から 3年目まで
備品購入	当助成金を活用し、1回以上イベント等の活動を行った団体	5万円	備品購入費 (例)マイク、机等	上記「運営」助成の助成期間内で 申請は1回のみ

04 助成団体一覧

名前	内容	開催頻度
上野つながルーム	「孤立防止」のために 地域のつながり作りや交流の場を提供	月1回
ぼっちの会	浅草橋地区の高齢者の孤立・孤独を 対象にした交流会	月1回
寿一ほっとライン	「孤立防止」を地域の課題とし、 向こう3軒両隣の精神で行う地域の つながりづくり	月1回
アンダンテ	音楽を用いた、公的なサービスに つながりにくい高齢者の場	不定期開催
清川つながり会	日本や外国につながる子どもたちが のびのびと遊べ、その保護者が抱える 悩みなどにも対応できる居場所	毎週

05 活動写真

